

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月30日

広島県知事 様

提出者

住所 広島市中区立町2-23
 氏名 東亜建設工業株式会社中国支店
 執行役員支店長 岡 禎之
 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
 電話番号 082-247-6326

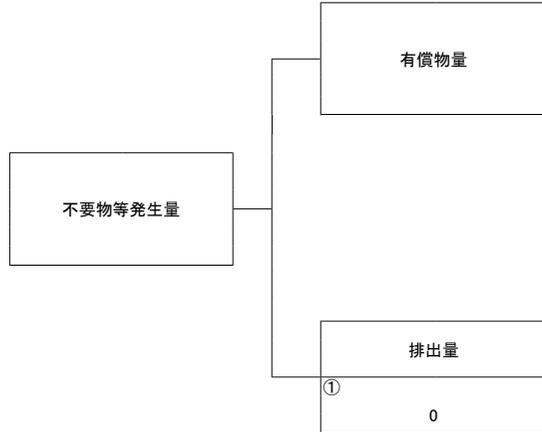
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東亜建設工業株式会社中国支店
事業場の所在地	広島市中区立町2-23
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値		別紙4のとおり	
項目	目標値	項目	目標値
排出量	t	全処理委託量	t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

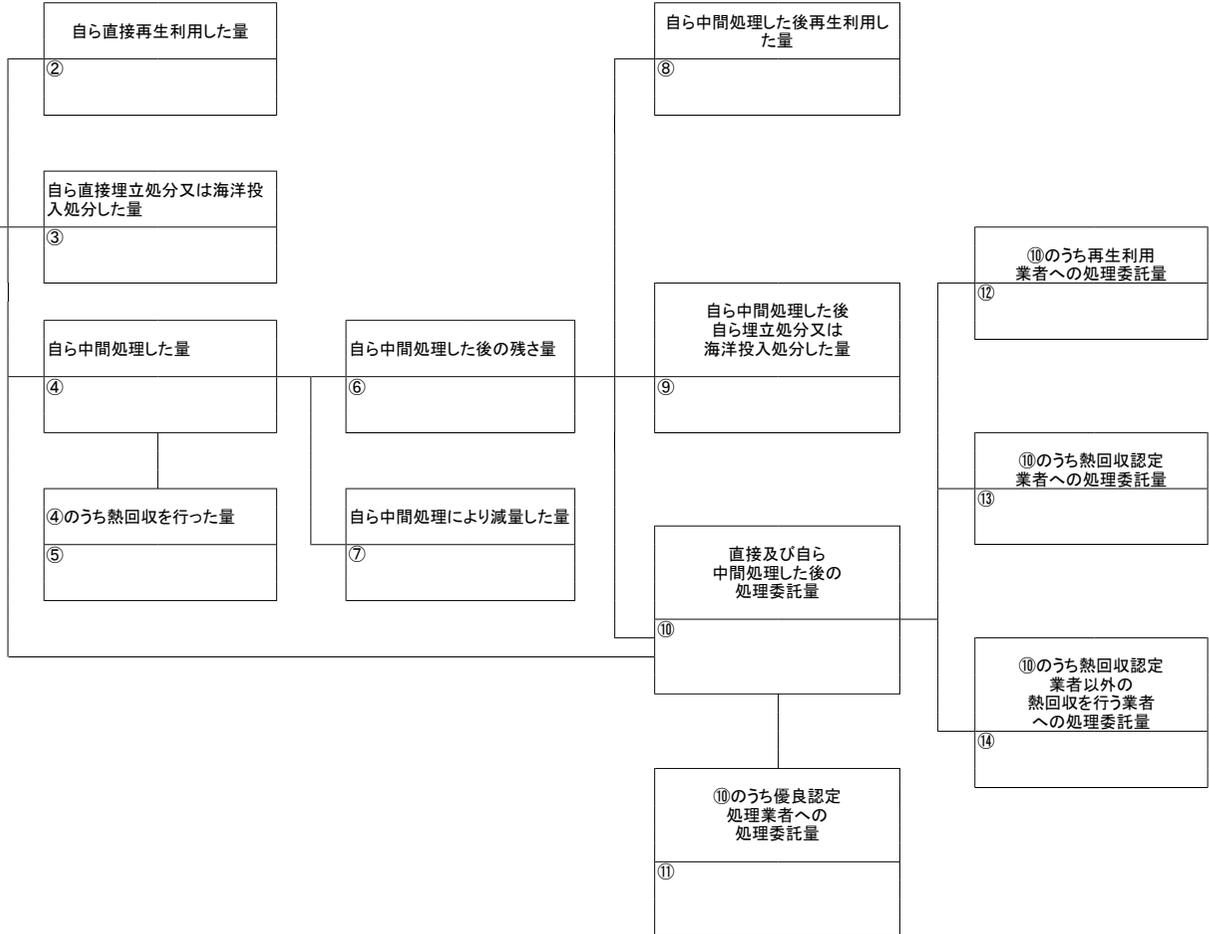
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)



別紙3のとおり

項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙3-その1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)
(令和4年度実績)

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	排出量	自ら直接再生利用した量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した量	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理により減量した量	自ら中間処理した後、再生利用した量	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃え殻														
汚泥	43.37									43.37	41.17	9.37		
廃油	1.74									1.74	1.74	1.74		
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	37.445									37.445	36.045	25.16		
紙くず	0.6									0.6	0.6	0.6		
木くず	25.155									25.155	22.955	25.025		
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず														
金属くず														
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	6.6									6.6	6.6			
鉱さい														
がれき類	2979.036									2979.036	2344.36	2900.036		
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
混合廃棄物	3.016									3.016	3.016	2.096		
石綿含有廃棄物	221.82									221.82	221.82			
その他(廃蛍光灯)	0.03									0.03				
その他(廃石綿)	0.6									0.6	0.6			
合計	3319.412	0	0	0	0	0	0	0	0	3319.412	2678.906	2964.027	0	0

別紙3-その2

単位:トン/年

	実績値									
	① 排出量	②+⑧ 自ら再生利用を行った量	⑤ 自ら熱回収を行った量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	③+⑨ 自ら理立処分又は海洋投入処分を行った量	⑩ 全処理委託量	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	⑫ 再生利用業者への処理委託量	⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
産業廃棄物の種類										
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	43.37	0	0	0	0	43.37	41.17	9.37	0	0
廃油	1.74	0	0	0	0	1.74	1.74	1.74	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	37.445	0	0	0	0	37.445	36.045	25.16	0	0
紙くず	0.6	0	0	0	0	0.6	0.6	0.6	0	0
木くず	25.155	0	0	0	0	25.155	22.955	25.025	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	6.6	0	0	0	0	6.6	6.6	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	2979.036	0	0	0	0	2979.036	2344.36	2900.036	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混合廃棄物	3.016	0	0	0	0	3.016	3.016	2.096	0	0
石綿含有廃棄物	221.82	0	0	0	0	221.82	221.82	0	0	0
その他(廃蛍光灯)	0.03	0	0	0	0	0.03	0	0	0	0
その他(廃石綿)	0.6	0	0	0	0	0.6	0.6	0	0	0
合計	3319.412	0	0	0	0	3319.412	2678.906	2964.027	0	0

別紙4(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

(令和4年度実績)

単位:トン/年

	目標値		実績値
排出量	2044.5	①排出量	3319
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		②自ら直接再生利用した量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		⑤自ら熱回収を行った量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		⑦自ら中間処理により減量した量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		③自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	
全処理委託量	2044.5	⑩全処理委託量	3319
優良認定処理業者への処理委託量	629.5	⑪優良認定処理業者への処理委託量	2679
再生利用業者への処理委託量	1833.3	⑫再生利用業者への処理委託量	2964
熱回収認定業者への処理委託量		⑬熱回収認定業者への処理委託量	
熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月30日

広島県知事 様

提出者

住所

広島市中区立町2-23

氏名

東亜建設工業株式会社中国支店
執行役員支店長 岡 禎之

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

082-247-6326

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東亜建設工業株式会社中国支店
事業場の所在地	広島市中区立町2-23
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙1, 2のとおり	
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙1, 2のとおり	
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 別紙1, 2のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和4年度)実績量

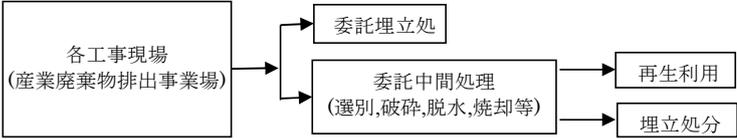
計画：今年度(令和5年度)計画量

単位:トン/年

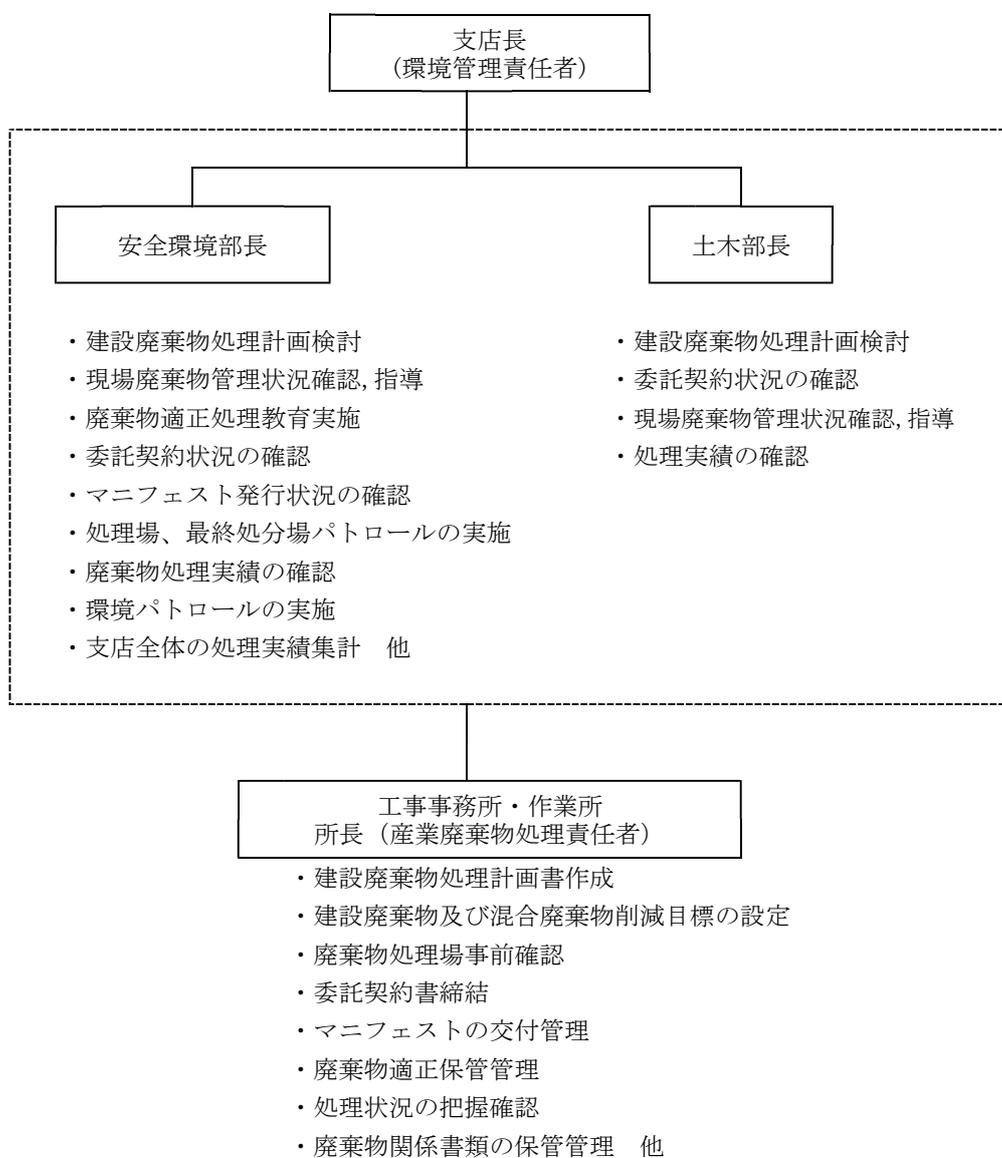
産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻																				
汚泥	43.37	3									43.37	3	41.17	1	9.37	2				
廃油	1.74	0									1.74	0	1.74		1.74					
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	37.445	20									37.445	20	36.045	20	25.16	15				
紙くず	0.6	0.5									0.6	0.5	0.6	0.5	0.6	0.5				
木くず	25.155	10									25.155	10	22.955	9	25.025	10				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず																				
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	6.6	1									6.6	1	6.6	1	0.2					
鉱さい																				
がれき類	2979.036	600									2979.036	600	2344.36	300	2900.036	580				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
混合廃棄物	3.016	3									3.016	3	3.016	3	2.096	2				
石綿含有廃棄物	221.82	0									221.82	0	221.82							
その他(廃蛍光灯)	0.03	0									0.03	0								
その他(廃石綿)	0.6	0									0.6	0	0.6							
合計	3319.412	637.5	0	0	0	0	0	0	0	0	3319.412	637.5	2678.906	334.5	2964.027	609.7	0	0	0	0

別紙2 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	前年度中国支店元請完成工事高 8,338,900,000円
③従業員数	94名 (中国支店 R5.4.1現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	 <pre> graph LR A[各工事現場 (産業廃棄物排出事業場)] --> B[委託埋立処] A --> C[委託中間処理 (選別, 破碎, 脱水, 焼却等)] C --> D[再生利用] C --> E[埋立処分] </pre>

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (中国支店管理体制図)



3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工検討段階で廃棄物の発生抑制に関して指導を行う。 ・ 工事毎に廃棄物排出抑制等の計画を策定し、支店施工管理部門にて確認指導を実施。 ・ 現場における産業廃棄物削減目標の設定。
②計画	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の取組をより徹底し効果的な取組とする。 ・ 管理部門は現場が設定した産業廃棄物削減目標の達成に向けた取り組みを環境パトロール等を通じて指導する。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ がれき類、廃プラ、紙くず、木くず、汚泥、ガラス陶磁器等、可能な限り現場にて分別を行う。 ・ 分別ボックスを設置。設置できない場合は土嚢袋等を用いるなどして分別を実施。 ・ 分別の徹底、分別方法、適正保管についてパトロール等を通じて確認、指導、是正を実施。 ・ 施工検討会時に混合廃棄物の分別徹底・強化を指導。 ・ 現場における混合廃棄物削減目標の設定。
②計画	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の取組をより徹底し効果的な取組とする。 ・ 管理部門による混合廃棄物の現場分別の徹底・強化指導の実施。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施していない
②計画	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施の予定なし

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施していない
②計画	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施の予定なし

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施していない
②計画	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施の予定なし

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

<p>①現状</p>	<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託契約時に委託業者の選定チェックを行い、電子マニフェスト・電子委託契約書利用者、優良認定処理業者との契約を優先。 ・優良認定処理業者情報を社内イントラネットにて周知。 ・委託契約書締結前中間処理施設、最終処分場の現地確認実施。 特に、新規取引業者の現地確認実施の徹底。適正業者確認の上で契約。 ・産廃排出中の中間処理施設地確認の実施。 ・委託契約時には許可内容、許可車両番号、運搬経路等の確認を行った上で書面による契約又は電子委託契約書を締結。 ・電子マニフェスト・電子委託契約新規加入業者への支援強化。(操作指導等) ・法令遵守、産廃管理業務の効率化及び精度向上に向けた取り組みの推進。 (社内産廃集計システムの円滑な運用)
<p>②計画</p>	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の取組をより徹底・強化し、効果的な取組とする。